

会 議 録

1 会議名	令和5年度 第2回 南砺市立図書館協議会
2 議題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> (1) 令和5年度事業の報告について <ul style="list-style-type: none"> ① 図書館デジタル化推進事業 <ul style="list-style-type: none"> ア) 市立図書館と学校図書館の共通システム化の進捗状況について イ) 図書館ホームページのリニューアルについて ウ) 本の巡回便について ② なんと！バースデーブック事業の申請状況について ③ 絵本ライブ 2023(福野図書館×ヘリオス)について ④ 市内高等学校との連携の実施状況について ・ 協議事項 <ul style="list-style-type: none"> (1) 令和6年度事業計画について <ul style="list-style-type: none"> ① 第5次南砺市子ども読書活動推進計画の策定について ・ その他 <ul style="list-style-type: none"> ① 新システム稼働に伴う臨時休館期間 ② 新システム導入セレモニー(中央図書館) ③ 遺贈寄附について
3 開催日時	令和6年2月14日(火) 午後1時58分から午後2時50分
4 開催場所	南砺市役所 3階 302会議室
5 出席者	<p>南砺市立図書館協議会委員 出席11名/全11名</p> <p>委員：武田和一、岩井透、嶋田充宏、唐嶋田鶴子、干場健、杉下悦子、瀬戸広美、前田悟志、川田真紀、山下美紀、西野真夫</p> <p>事務局：教育長、教育部長、生涯学習スポーツ課長、教育総務課長、中央図書館長、こども課主幹、福野図書館副主幹、中央図書館副主幹、中央図書館副主幹、中央図書館司書</p>
6 欠席者	無し
7 傍聴者	無し
8 議事内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 開会 保市図書館長 ・ 開会あいさつ 武田会長 <p>令和6年能登半島地震で被災されたみなさまに、心よりお見舞い申し上げます。</p> <p>先日、平地域において、全国高等学校スキー大会が行われ、雪の少ない中でも無事開催することができた。</p> <p>図書館協議会では、ご忌憚のないご意見をいただきたい。</p> ・ 進行 武田会長 ・ 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> (1) 令和5年度事業の報告について説明 <p>事務局：(資料1～6に沿って説明)</p>

資料1 ①図書館デジタル化推進事業

ア)市立図書館と学校図書館の共通システム化に関する進捗状況について
(市立図書館)

- 1 市立図書館 IC エンコード作業について、219,390 冊エンコード済である
(R5.12.20 現在)
- 2 機器の事前搬入について、市立図書館の機器の事前搬入は3月12、13
日に行う。ICを活用したセルフ貸出機も設置され、効率的な図書館運営を行
うことができる。
- 3 機器設置作業について、4館に BDS(ブックディテクションシステム)ゲートを設
置済である。中央と福野の2館に予約棚と予約照会機も設置済である。
3月7、8日に、4館に自動返却機が設置される。
- 4 機器設定作業について、臨時休館中の3月12日から25日にかけて、端末
やゲート等の設定作業を行う。

(学校図書館)

- 1 学校図書館バーコード貼付と蔵書登録作業について、学校での作業は、
本にバーコードの貼り付けと、蔵書登録を行った。夏休み期間中、各学校の
教職員にご協力いただき、集中的にバーコードの貼り付けを行い、全蔵書の
バーコード貼付を終了しました。各学校の司書が蔵書の登録作業を始め、12
128,551 冊の既存図書の登録を終了した。
- 2 機器の事前搬入について、2月1日から22日にかけて、ノートパソコン等の
事前搬入を行う。2月21、22日に、読書シールを印刷するラベルプリンタを搬
入する。
- 3 機器設定作業について。2月26日から3月1日にかけて、全学校の設定作
業を行う。

資料2 イ)図書館ホームページのリニューアルについて

3月26日(火)にホームページをリニューアルする。新しい機能として、トップペ
ージを見ると一目で開館状況を確認することができる。新しく入った本の表紙
画像が表示され、視覚的に本を探すことができる。オーディオブック(耳で聴く
本)を利用することができる。名作文学から教養にいたるまで、各種ジャンルに
わたる約6000タイトルを聴くことができる。また、アクセス数をカウントできるよう
なる。

資料3 ウ)本の巡回便の運用について

4月から、交流センター、病院や学校で、予約した本の貸し出しや返却がで
きるように、本の配送を行う事業である。すべての市民に図書館を身近に感じ
ていただく環境をつくっていく。

資料4 ②なんと！バースデーブック事業の申請状況について

図書館協議会の意見からスタートした「なんと！バースデーブック事業」は、

72%の申請率である。(R6.2.5 現在)絵本プレゼントをきっかけに、図書館を気軽に利用していただき、小さい頃からの読書の大切さを伝える。来年度以降も、引き続き実施する。

資料5 ③ 絵本ライブ 2023 について

今年度で8回目の開催となった。内容は、絵本の画像をスクリーンに投影し、照明や音響などの演出を加えた特別なおはなし会で、令和3年度から手話通訳も実施している。入場者数は、前回の214人から今回は211人と少し減少したが、今回は絵本の間に参加型のオリジナルプログラムを入れてメリハリをつけ、参加者から好評だった。

資料6 ④ 市内高等学校との連携の実施状況について

南砺福野高等学校の図書館研修は、図書委員の生徒対象に実施し、利用案内や館内見学等で、今年は、県立図書館で始まった電子書籍システムの説明や、スマートフォンを使い南砺市立図書館ホームページの利用体験をした。今年度初めて、希望者による高校生による読み聞かせボランティアを募集し、保育園でおはなし会を実施した。

南砺平高等学校と平図書館との連携では、「発達と保育」を履修している生徒を対象に読み聞かせの指導をし、小学校で読み聞かせを実施した。

・協議事項

(1) 令和6年度事業計画について

事務局:(資料7に沿って説明)

令和6年度は、第5次南砺市子ども読書活動推進計画の策定に伴い、策定委員会を3回開催する。現在の第4次計画は、令和4年3月に策定し、子どもの発達段階に応じた読書活動の推進と、家庭・地域、市立図書館、学校や社会全体における読書活動の推進を基本方針として取り組んでいる。計画期間は5年間で令和8年3月に終了する予定であるが、国及び県の計画の策定に伴い、第4次の計画期間を短縮し、第5次計画を策定する。委員数は10名で、内公募委員3名は2月22日から公募を行う。

4 その他

事務局:(資料8に沿って説明)

① 新システム稼働に伴う臨時休館期間

図書館デジタル化推進事業による、市立図書館と学校図書館の共通システム化、資料のICシステム化と本の巡回便の充実を図ることで、3月26日から図書館がより便利になる。その準備期間として、3月12日～25日までの間、市内5館の図書館は臨時休館する。

② 新システム導入セレモニーについて

新システム導入セレモニーを、臨時休館明けの3月26日午前9時30分から

中央図書館で行う。

③遺贈寄附について

昨年12月、中央図書館に旧福光町出身の方から、1,000万円の遺贈寄付をいただいた。寄付いただいた財産は、中央図書館の充実のため、市内小・中・義務教育学校の子供たちのための本(学校の授業で活用する歴史教材等)とそれらの専用書架の設置を検討している。尚、使用目的については、ご遺族の承認を得ている。

●質疑応答・提案事項

委員：オーディオブックはどのように利用するのか。

事務局：図書館ホームページから、蔵書検索から選んで、ストリーミング形式で利用することができる。誰でも利用できるのではなく、図書館の利用カードを持っている方で、必ずIDとパスワードの入力が必要である。ホームページの利用案内でも詳しく説明したいと思っている。

委員：学校では、ラベルプリンタからシールを印字し、「読書ノート」に貼って、読書の記録をためることができるが、一般向けにも提供していただくことはできないか。

事務局：読書シールを印字する「ラベルプリンタ」は、学校のみ設置する。市立図書館を利用するすべての利用者は、図書館ホームページからデジタルで貸出履歴を確認することになる。

委員：バースデーブック事業を引き続き行ってほしい。きっかけづくりの事業であるため、2, 3歳…の誕生日では家庭でつながってほしいと思う。

教育長：バースデーブック事業をきっかけに、0歳から図書館利用カードを作って利用していただくことで、小さい頃からの読書履歴を確認できるようになる。

会長：新図書館システムは、市立図書館は3月26日から稼働で、現状はまだなのか。学校は新学期に入ってからが本稼働になるのか。子どもたちは、関心をもって読書に取り組んでほしい。

教育長：その通りである。教育総務課にも協力いただき、各学校のカリキュラムの中に1週間に1回はタブレットを使って、本で調べる時間を設けていただくようお願いしている。学校司書のみなさんも

ご協力いただきたい。

また、交流センターについても、広く利用していただくよう、説明会を実施していく予定である。

会 長：南砺市は高齢者が多いため、パソコンやスマートフォンを上手く使える人がどれだけいるのか。デジタル化やペーパーレス化が進み、大変な社会になってきている。

教育長：南砺市は高齢者が多いが、これからの図書館は、大きな建物を建てるのではなく、人と人を介して交流を深め、デジタル化に対応した一流の田舎を目指している。

委 員：巡回本サービス事業で、協力予定の交流センターでは、貸出本や返却本がない場合も対応することになるのか。

事務局：貸出や返却等がある場合のみ、月2回対応することになる。なお、今後協力いただける交流センターがあれば、随時受付しているため、検討いただきたい。

委 員：学校と市立図書館は共通のバーコードになっているため、市民が学校図書館を利用できるということか。

事務局：市民は、学校図書館を利用することはできない。

委 員：市民が、学校図書館の本を検索することができるのか。

事務局：学校図書館の本は、市民に公開されない。

委 員：なんと！バースデーブック事業で、2月と3月生まれの出生者数はわかっているはずなのに、空白なのはなぜか。

事務局：なんと！バースデーブック事業は、こども課の「なんどの宝」お祝い事業と連携し、名簿等の事務をこども課が行っており、図書館では把握していない。また、転入、転出等もあるため、1歳の誕生を迎えた児童が南砺市に在住している場合のみ、案内を送付している。

委 員：再案内数が多いため、周知の仕方を検討いただきたい。

事務局：他の周知方法を検討する。

委員：学校図書館と市立図書館のデータが共有化されるのであれば、情報化のメリットを最大限に活かしていただきたい。例えば、よく借りられる本等の情報を共有し、選書の参考にしたい。

事務局：学校図書館と市立図書館と連携を図り、読書環境を整える。

会長：第5次南砺市子ども読書活動推進計画は、国・県・南砺市の順番で策定するのか。

事務局：その通りである。

・閉会のあいさつ 松本教育長

図書館は、令和6年度から大きく変わる。現在、提案していることかベストなのか、やってみないとわからないところもある。今後も、委員のみなさんの意見をいただきたい。